

HCI プログラミングレポート課題

HCI プログラミングで学んだことをもとにして GUI アプリケーションを作成しましょう。

■アプリについて

アプリケーションのジャンルは問いませんが、役に立ちそうなものが良いですね!

■報告書について

報告書は4項目からなり、A4一枚にまとめます。4項目は「アプリの名称」と「アプリの概要」、「アプリのデモ」、「考察」です。各項目の内容は次のとおりです。

- アプリの名称 アプリの機能を明確に表す名前を付けましょう
- アプリの概要 どのような機能をもつのかを数行で記述しましょう
- アプリのデモ 動作画面のスクリーンショットを貼りながら操作方法を解説しましょう。
- 考 察 工夫した点や難しかった点、改善点、今後の展開を記述しましょう。

※講義用ページに Word のテンプレートを準備していますのでこれを用いて作成しましょう。

■レポート課題の評価〔100点〕 = アプリ〔80点〕 + 報告書〔20点〕

★アプリの採点〔80点〕基準：

以下の項目が**有効**にアプリに実装されている場合に加点し評価とします。

- +10点 イメージ（画像、ラベルやボタンのアイコンなど）の表示を行っているか?
- +10点 ラベル（文字列の表示）を用いているか?
- +10点 ウィンドウやマウス、各種 GUI 部品など何らかのイベント処理が入っているか?
- +10点 ボタン、チェックボックス、ラジオボタンの少なくともいずれかが使われているか?
- +10点 メニューが使われているか?
- +10点 ポップアップメニューが使われているか?
- +10点 テキストフィールドが使われているか?
- +10点 グラフィックスが使われているか?

※加点は対応する GUI 部品が有効に使用されていることが必須です。テキストフィールドを貼りつけたのみでこのフィールドのデータを他の処理に使用しない場合は、テキストフィールドの加点は行いません

※画像ファイルを用いる場合は著作権に注意しましょう

※コンパイルエラーや画像ファイルなどの不足により**実行が確認できない場合は0点**とします

※アプリの内容が**出席課題や発展課題に酷似したものは0点**とします

※皆さんで教えあひながらのアプリ制作は大変に良いです。

※ただし、コードのコピーなどにより**全体にわたり酷似したコードの場合はお互いに0点**とします。

★報告書の採点〔20点〕基準：

各4項目をそれぞれ5点とします。十分に記載されている場合（5点）から不十分な場合（0点）として評価を行います。

※アプリの実行が確認できない場合は報告書の内容を再現／確認できないため採点は行いません（0点）

■提出先と提出期限

提出先 WingNet 上の提出箱「HCI★レポート課題」へ **※期限 1週間前に設置します**

- アプリファイル一式（.lzh または .zip）
※ソールファイルの他、画像ファイルなど動作に必要なすべてのファイルを圧縮して
1つのファイル（.lzh または .zip）にまとめてアップしてください。
- 報告書ファイル（.pdf）
※Word の〔名前を付けて保存〕から pdf 形式を選択してください。
※Word ファイルのみの場合は減点することがあります

提出期限 2017年1月24日（火）23:59